

令和4年度地域と市長のまちづくり懇談会 松葉校区

開催年度回次	令和4年度第14回	開催月日	8月21日	開催校区	松葉校区	開催場所	松葉校区市民館
議 題				市の回答			
<p>1 プールの取り壊しと跡地の利用について</p> <p>(1) 松葉小学校は、令和2年度からプールの使用がなくなり、今後も菰口町の「アスカスポーツこもぐち」で水泳授業を行うことになっているため、学校のプールを活用する予定はないとのことです。使用しないプールを放置しておくことは、安全面、衛生面だけでなく、児童の情緒面でも好ましくないと考えます。</p> <p>また、プールの南側と東側には道路を通行する歩行者の頭より高いコンクリート塀があり、地震発生で倒壊することが想定され、たいへん危険な状態になっています。<u>プール及びコンクリート塀を早急に取り壊し、跡地を有効活用することを要望します。</u></p> <p>(2) 松葉小学校は駐車場が大変狭く、その上、校区市民館には全く駐車場がないため、来館者は松葉小学校の駐車場を利用しています。正門付近では児童と車の導線が交錯する場面があり、日常的に危険な状態です。</p> <p><u>プールの跡地を、市民館利用者、児童クラブやのびるん de スクール関係者の駐車場として活用することで、危険な状態が回避され、地域の方の利便性もよくなるとともに、小学校の駐車場もゆとりができると考えます。</u></p> <p>(3) 校区市民館は大変老朽化が激しく雨漏りもあり、耐震面も心配です。また、校区市民館に消防団松葉分団の詰所が隣接しています。校区市民館・消防団詰所は崖の下にあり、土砂崩れの危険があります。校区市民館は第一指定避難所であり、消防団は災害発生時に出勤する必要がありますが、地震などで崖崩れの危険があるため大変不安です。</p> <p><u>市民館及び消防団詰所をプール跡地に新築することで、災害発生時の安全な避難所を確保するとともに救助システムを整備できると考えます。</u></p>				<p>(1) (2) 教育政策課</p> <p>プールの跡地利用については、学校はもとより地域住民にとっても有効的なものになるよう、検討を進めていきたいと考えています。松葉小学校のプール設置場所を市民館利用者等の駐車場として活用する方法も一つの選択肢として、しっかり検討してまいります。</p> <p>また、プールの南側と東側のコンクリート塀は定期的に安全性を確認し、必要な補修等を実施しております。</p> <p>(3) 市民協働推進課、消防本部総務課</p> <p>松葉校区市民館は昭和55年の建設から40年以上が経過しており、ご指摘のとおり老朽化が進んでおります。これまでも外壁や屋上防水などの修繕は行っており、今後も必要に応じ修繕を行ってまいります。耐震面につきましては、平成7年に実施しました耐震診断調査において、耐震性は「有り」の判定となっております。</p> <p>次にプール跡地への建設についてですが、土砂災害警戒区域がプールの南側に指定されていることを踏まえ、移築することで現在より警戒区域に近づいてしまうことから、現実的な選択ではないと考えております。</p>			

開催年度回次	令和4年度第14回	開催月日	8月21日	開催校区	松葉校区	開催場所	松葉校区市民館
議 題				市の回答			
<p>2 豊橋市のSDGsの進捗状況について</p> <p>SDGs未来都市に選定された豊橋市は、第1期・第2期SDGs未来都市計画を策定しました。豊橋市の計画の特色、他の都市と比べて誇れる活動、取り組みの進捗状況などについてご教示ください。また、地域で取り組むべきことがありましたら教えてください。</p>				<p>政策企画課</p> <p>まず、豊橋市のSDGs未来都市計画の特色ですが、一言で申し上げますと、「水と緑を守る」ことで、誰一人取り残さない世界を実現する計画である点です。計画では次の2つを目指す将来像に掲げています。</p> <p>1つ目は、東三河地域で連携した環境保全活動や子ども達への環境教育などにより、奥三河の森林が適正に維持されるとともに、豊川水系の恵みを地域住民や企業が持続的に享受されること。</p> <p>2つ目は、本市の優れた水道技術が後世、さらに世界へと継承されることで、安全・安心な水が安定的に供給されることです。</p> <p>続いて、豊橋市として誇れる活動についてです。</p> <p>まず、行政としての活動としては、全国屈指のバイオマス利活用センターでの生ごみなどを活用した発電や、昨年11月に「ゼロカーボンシティとよはし」を宣言し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを行っているほか、東三河の自治体に水道技術者を派遣して技術指導を行い、水道水の安定供給につなげています。また、本市にある専門性の異なる3大学と包括連携協定を結び、SDGsの実現に向けて取り組みを進めています。</p> <p>次に市民の活動としては、「530(ゴミゼロ)運動」発祥の地として、環境への高い意識を持っており、地域の様々な団体が森林整備や環境保全活動に取り組んだり、300以上もの団体が「豊橋市SDGs推進パートナー」に登録し本市とともにSDGsを推進していること、さらに、高校生などの若者によるSDGs活動などが実践されている点は特色があり誇れる点であると考えております。</p>			

開催年度回次	令和4年度第14回	開催月日	8月21日	開催校区	松葉校区	開催場所	松葉校区市民館
議 題				市の回答			
2 豊橋市のSDGsの進捗状況について				<p>取り組みの進捗については、新型コロナウイルス感染症による活動制限の影響もあり取り組みが難しい点もありますが、SDGsの認知度の高まりや、年間100もの団体がSDGs推進パートナーに登録していること、昨年度666名の高校生達がSDGsアクションを実践するなど、一定の成果も挙がっていると認識しています。</p> <p>最後に、地域の皆様をお願いしたいことといたしまして、我々の目指しているゴールは決して行政だけでは成しえませんが、私たち一人ひとりが未来をつくるのだという思いで、小さなことでも良いので「自分にできること」を探して行動して頂きたいです。</p> <p>例えば、マイボトルやマイバックを使うこと、食べ物やまだ使えるものを大切にすることなどの環境にやさしいライフスタイルの推進も温室効果ガスを削減することにつながります。</p> <p>また、ご近所同士でのあいさつや声掛けも、防犯や安心といった住み続けられるまちづくりのための取り組みの1つです。</p> <p>地域として力を合わせ、引き続き、私たちと一緒に取り組みを進めていただきますようお願いいたします。</p>			